



会津藩校日新館（会津若松市）

会津藩校日新館は、会津藩士の子供たちが学ぶための学校として、享和3年（1803年）、鶴ヶ城の西側の道を1本隔てた場所に完成しました。素読や武芸の厳しい授業があり、会津藩士の子供たちは、ここで武士の心得や「ならぬことはならぬ」の精神も学んでいました。現在は、河東町に復元した観光施設として、会津武士の精神を今に伝えています。今年の大河ドラマ「八重の桜」のロケ地にもなりました。



株式会社アサカ理研

JASDAQ 証券コード：5724

株主の皆様へ

第46期第2四半期株主通信

平成24年10月1日から平成25年3月31日まで

個人投資家の皆様へ

詳しくはホームページを
ご覧ください。

<http://www.asaka.co.jp>



■ トップインタビュー

株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成25年9月期第2四半期の事業概況、及び今後の見通しについてご報告申し上げます。

Q1. 平成25年9月期第2四半期の業績についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、徐々に持ち直しに向かい始めた世界経済、堅調な個人消費や公共投資、回復に転じた鉱工業生産など、長引く景気後退に下げ止まりの兆しが見えてまいりました。

当社グループの経営成績に大きく影響を及ぼす、電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンの新商品向け部品の需要の下振れや東アジア諸国との競争激化の影響で、生産活動は弱含みで推移しました。一方、主力製品である金と銅の価格は、期首からの円安により終始上昇基調で推移し、前年同期を上回る水準で推移しました。

このような環境のもと、当社グループでは、年度目標である、「新しい市場の開拓」、「新たな事業基盤となり得る新規事業の構築」、「生産の効率化や新規事業創出のための技術開発」、「社内諸制度の変革を通じた経営管理体制の強化」に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、金属価格が上昇した影響を受けながらも、市場環境の変化や、取引形態変更による受託加工取引の割合の上昇によって、売上高は4,781百万円（前年同四半期比34.7%減）となりました。営業利益は、売上高減少の影響及び新規事業への先行投資の実施によって、152百万円（同8.2%減）となりました。経常利益は、デリバティブ評価損の減少により、154百万円（同193.2%増）となりました。四半期純利益は、95百万円（同224.1%増）となりました。

なお、貴金属事業における一部の売買取引を受託加工取引に切り替えたことにより、取引形態変更見合分の売上高が減少しておりますが、これによる営業利益への影響はございません。

Q2. 今後の見通しについてどのようなお考えでしょうか。

当社グループの主要なお客様が属する電子部品・デバイス工業分野の生産活動が依然として先行き不透明であること等を勘案した結果、平成24年11月9日に公表しました連結業績予想（下記）の修正はございません。

平成25年9月期の連結業績予想
（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

売上高	11,099百万円（前期比15.2%減）
営業利益	252百万円（同 1.2%増）
経常利益	225百万円（同 89.7%増）
当期純利益	122百万円（同 66.2%増）



代表取締役社長

山田 慶太

貴金属事業及び環境事業の主要なお客様である電子部品・デバイス工業分野においては、価格競争の激化等の影響により、国内生産の大幅な改善は見込みにくい状況にあります。当社としては、既存のお客様に対しては、より競争力のある価格でサービスを提供できるよう、生産効率を高めて、コストダウンを進めるとともに、海外も含めた新しい市場、事業分野への進出を図ってまいります。また、当社の主力事業は、貴金属及び銅の相場変動と、電子部品・デバイス工業分野の生産動向の影響を受けやすい状況にあり、事業基盤の盤石性を確保するために、これらの影響を受けにくい事業を立ち上げるべく、引き続き研究開発及び市場開拓を進めてまいります。

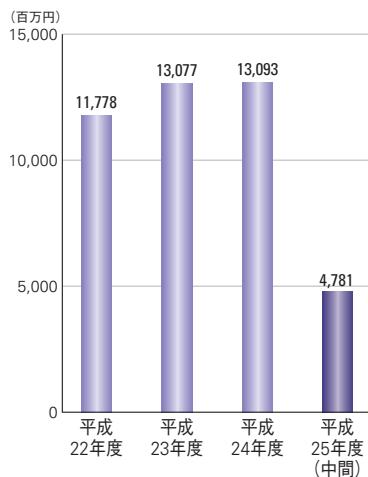
Q3. 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

前述の通り、電子部品・デバイス工業分野においては、価格競争の激化等の影響により、国内生産の大幅な改善は見込みにくい状況にあります。また、世界経済の変動によって大きく需要が増減する局面が増加しており、近年その振幅は大きく急激なものになってきています。

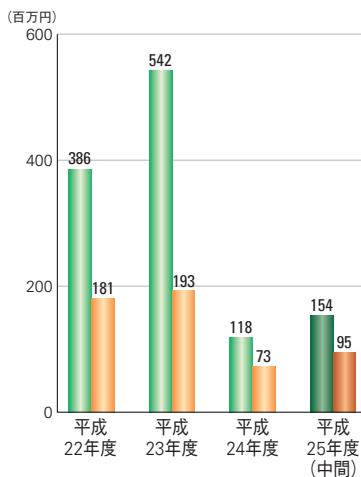
そうした厳しい環境の中ではありますが、「新規事業の創出及び新市場の開拓の加速」をはじめとした当社グループの重要課題の克服に向けて、全役職員が一丸となって取り組むことによって、事業の安定化を図るとともに、企業価値の向上に引き続き努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

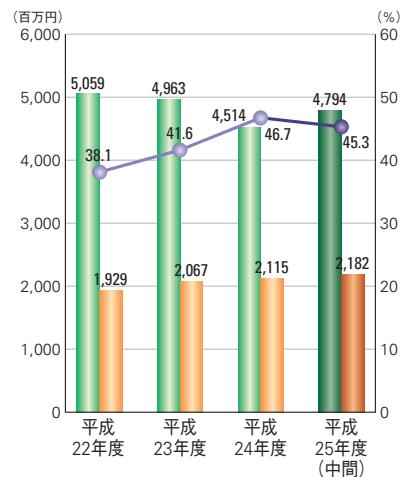


経常利益、 中間(当期)純利益



■ 経常利益 ■ 中間(当期)純利益

総資産、純資産、 自己資本比率



■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率

■ 当第2四半期 連結累計期間の概況

■ 貴金属事業

当事業の主要なお客様が属する電子部品・デバイス工業分野の生産は、前年同期と比べやや弱含みで推移し、市場環境の変化や、取引形態変更による受託加工取引の割合の上昇によって、貴金属の販売数量は前年同期実績を大きく下回りました。また、主力製品である金の価格は、前年同期を上回る水準で推移しました。

この結果、売上高は、4,398百万円（前年同四半期比35.2%減）となりました。セグメント利益は、396百万円（同57.2%増）となりました。

■ 環境事業

当事業の主要なお客様が属する電子回路基板業界の生産は、引き続き低水準で推移し、市場環境の変化も相まって、当社の電子回路基板向けエッチング液及び銅ペレットの販売数量は、前年同期の実績を下回りました。また、銅ペレットの販売価格は、前年同期をやや上回る水準となりました。新規事業においても受注が伸びず減収となり、環境事業全体の売上高は360百万円（前年同四半期比28.8%減）となりました。セグメント利益は、売上高減少の影響により、21百万円（同64.4%減）となりました。

■ その他

システム受託開発事業においては、売上高が前年同期実績を下回りました。また、運輸事業においても、厳しい事業環境が続いております。この結果、その他の売上高は、99百万円（前年同四半期比7.8%減）となり、セグメント損失は、売上高減少の影響で、2百万円（前年同四半期は11百万円の利益）となりました。

■ 第2四半期連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (平成25年3月31日)	前期末 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産	2,772	2,552
固定資産	2,021	1,962
有形固定資産	1,822	1,783
無形固定資産	23	25
投資その他の資産	174	153
資産合計	4,794	4,514
負債の部		
流動負債	1,739	1,344
固定負債	872	1,054
負債合計	2,611	2,399
純資産の部		
株主資本	2,143	2,085
資本金	504	504
資本剰余金	339	339
利益剰余金	1,346	1,288
自己株式	△46	△46
その他の包括利益累計額	30	25
新株予約権	9	4
純資産合計	2,182	2,115
負債純資産合計	4,794	4,514

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成24年10月1日～ 平成25年3月31日)	前第2四半期 (平成23年10月1日～ 平成24年3月31日)
売上高	4,781	7,322
売上原価	3,978	6,479
売上総利益	802	842
販売費及び一般管理費	650	676
営業利益	152	165
営業外収益	16	10
営業外費用	14	123
経常利益	154	52
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	153	51
法人税、住民税及び事業税	75	16
法人税等調整額	△17	6
少数株主損益調整前四半期純利益	95	29
四半期純利益	95	29

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成24年10月1日～ 平成25年3月31日)	前第2四半期 (平成23年10月1日～ 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	176	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11	△40
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	116	5
現金及び現金同等物の期首残高	439	642
現金及び現金同等物の四半期末残高	556	648

工場見学会を開催いたしました

平成24年12月21日の第45期定時株主総会終了後、ご来場いただきました株主様を対象に工場見学会を開催いたしました。当社の事業について理解を深めていただくことを目的に、山田社長より事業戦略について説明を行った後、洗浄工程や金の分離・精製工程、仕上げ工程などを見学していただきました。

当社では引き続き積極的なIR活動を展開してまいります。

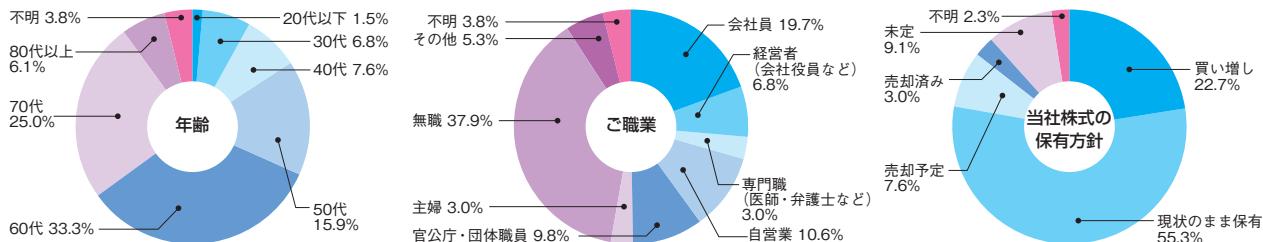


株主さまアンケート結果のご報告

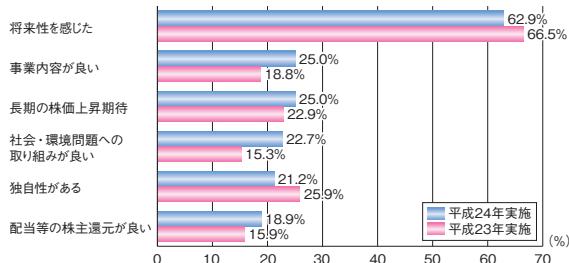
平成24年12月の『株主の皆様へ』での「株主さまアンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。今回は、132人（回答率10.0%）の株主様からご回答並びに貴重なご意見をいただきました。

お寄せいただいたご回答結果の一部をお知らせします。皆様の声を少しでも多く経営・IR活動に反映できるよう、今後とも取り組んでまいります。

ご回答者について

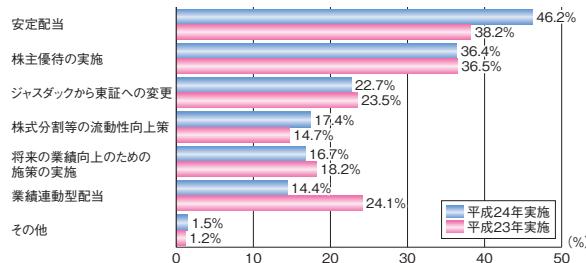


当社株式を取得された理由 (上位6位まで、複数回答)



引き続き「将来性を感じた」が圧倒的に多く、「事業内容が良い」、「長期の株価上昇期待」と続いています。昨年との比較では、「事業内容が良い」「社会・環境問題への取り組みが良い」とするご回答が、それぞれ6.2P、7.4P増加しており、株主様のご期待に沿えるよう、今後もリサイクルを通じた地球資源の有効活用や環境保全に貢献してまいります。

株主施策として望ましいもの (上位2つまで回答)



「安定配当」、「株主優待の実施」が望ましいとするご要望を引き続き多く頂戴しております。昨年との比較では、「安定配当」が望ましいとのご回答が+8.0Pと大きく増加しており、今後ともご期待に応えることができるよう、業績向上に努めてまいります。

■会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	昭和44年8月25日
資本金	504,295,600円
事業内容	
①貴金属事業	金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理及び販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生及び販売
②環境事業	塩化第二鉄廃液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売、水処理事業、光触媒事業
③その他の事業	自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発及び販売、工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

■役員

代表取締役社長	山田 慶太
取締役	吉田 隆之
取締役兼執行役員	志村 高史
取締役兼執行役員	佐久間幸雄
取締役兼執行役員	鈴木 忍
取締役	野納 敏展
取締役	熊谷 巧
取締役	三崎 秀央
常勤監査役	大谷 勝男
監査役	遠藤 政勝
監査役	森 勝房

(注) 1. 取締役野納敏展氏、熊谷巧氏及び三崎秀央氏は、社外取締役であります。
2. 監査役大谷勝男氏及び遠藤政勝氏は、社外監査役であります。

■株式の状況

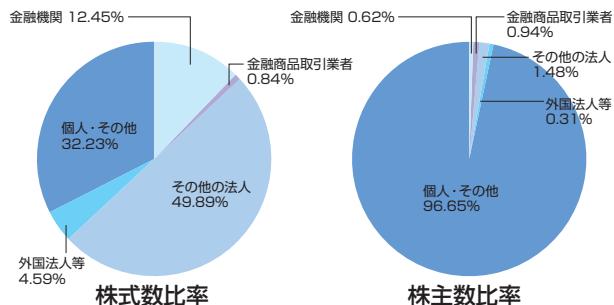
発行可能株式総数	10,200,000株
発行済株式総数	2,572,300株 (自己株式84,697株を含む)
株主数	1,283名

■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社モラル・コーポレーション	718	28.86
株式会社M&F	340	13.67
野村ホールディングス株式会社	100	4.02
株式会社常陽銀行	90	3.62
株式会社東邦銀行	81	3.26
日本生命保険相互会社	72	2.91
ピーエヌピー パリバセキュリティーズ サービス ルクセンプルグ ジャスデック セキュリティーズ	55	2.24
ザバンク オブ ニューヨーク トリー ティー ジャスデック アカウント	54	2.17
第一生命保険株式会社	50	2.01
東京中小企業投資育成株式会社	50	2.01

(注) 当社は自己株式(84,697株)を保有しておりますが、議決権がないため上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社保有の自己株式(84,697株)を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
配当金受領株主確定日	9月30日
	なお、中間配当を実施するときは3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711（通話料無料）
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL：0120-49-7009（通話料無料）
上場証券取引所	大阪証券取引所・JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asaka.co.jp/ (ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行為口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- (4) 大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所になります。

旧滝沢本陣(会津若松市)



城内巡視や参勤交代の際に、藩主が休憩したり着替えをしたりする休息所として、旧白河街道沿いに設けられ、藩祖・保科正之が祀られている土津神社の参拝時などにも利用されました。戊辰戦争時には、滝沢峠を越えてくる新政府軍に対抗するための御本陣となり、藩主・松平容保が白虎隊と共にここから出陣しました。城下に新政府軍が進軍してきた際は、戦略的に重要な拠点ということで激しい戦場の1つになり、そのときの様子を物語る刀傷や弾丸の痕などが今も生々しく残っています。国の重要文化財に指定されています。

旧滝沢本陣

〒965-0003 福島県会津若松市一真町大字八幡滝沢122
TEL：0242-22-8525

福島の旅が丸わかり!!

福島の旅 で検索 <http://www.tif.ne.jp>

うつくしま観光プロモーション推進機構（財団法人福島県観光物産交流協会 内）
福島市三河南町1番20号コラッセふくしま7階 TEL：024-525-4024